

教 生 学 第 875 号

令和5年(2023年)10月18日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長
各市町村教育委員会教育長(札幌市を除く) 様
(各市町村立学校長)
(各市町村立幼稚園長)

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 大 槻 直 広

ヒグマによる事故の防止について(通知)

このことについて、ヒグマの出没情報があった際、各学校においては、市町村や警察署等と連携し、ヒグマが出没した場所の情報共有や児童生徒等への注意喚起や、PTA等と連携し、登下校中の見守り活動を行うなど、児童生徒の安全確保に取り組んでいただいているところです。

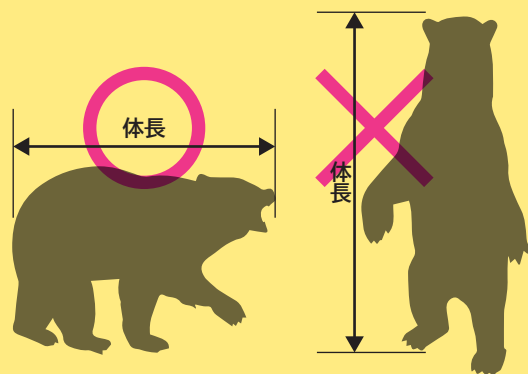
しかしながら、近年、市街地を含め、道内様々な場所でヒグマの出没が確認されていることから、児童生徒が、ヒグマの生態を正しく知り、ヒグマに遭遇しないための行動を取ることや、万が一、遭遇した際に自らの身を守る方策を身に付けておく必要があります。

つきましては、別添資料「ヒグマとのおつきあい」を活用し、学級活動やホームルーム活動等で児童生徒に対する安全指導を行うとともに、学級だより等を通じ、保護者に対しても家庭内で注意喚起が図られるよう働きかけをお願いします。

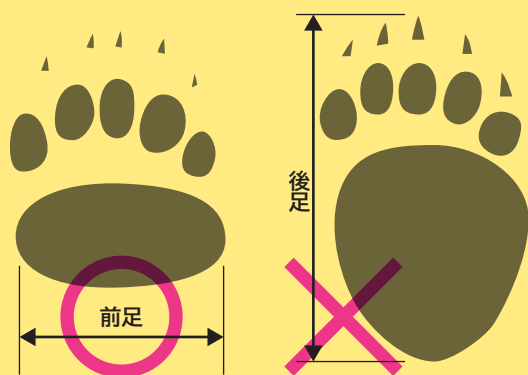
(学校安全係)

ヒグマの「大きさ」は ここを計測!

●体長 鼻先からお尻までの長さ



●足跡 前足の幅の長さ



人里周辺で、**ヒグマ**や**痕跡**を
発見した時は、**警察**または、
市町村役場にご連絡ください

ヒグマに注意! SNSやアプリなどの登録を

北海道では、近年、市街地にまで姿を現すヒグマが問題となっています。

北海道では、ヒグマが頻繁に市街地に出没したり、ヒグマによる人身事故が発生した場合に「ヒグマ注意報」「ヒグマ警報」を発出し、SNSなどを活用して情報発信しています。

ぜひ、ご登録いただき、ヒグマの出没に備えましょう。

北海道ヒグマ 登録して備える 注意報・警報



北海道庁公式
Twitter
@PrefHokkaido



Yahoo!
防災速報



北海道庁HP
ヒグマ注意報



あなたとヒグマの共存のための

ヒグマとの おつきあい

北海道の多くの地域は
ヒグマの生息地です。



北海道環境生活部

ヒグマの生態

●オス

体長：2.0m弱
体重：約150～400kg

●メス

体長：約1.5m
体重：約100～200kg

●聴覚

聴力に優れ、音に対しては敏感。

●視覚

昼夜を問わず行動できる視力を持ち、目は決して悪くはない。ただ、あまり遠距離の物はよく見えないらしい。

●嗅覚

敏感で、埋めた残飯などもすぐに見つけられます。



●性格

群れを作らず単独や親子で行動。大半のヒグマは警戒心が強く、人を避けて生活しています。

●運動能力

臨機の動作は非常に機敏。その気になれば一撃で牛を倒す事もできます。

人の活動での注意

●出没地域に住む人

ヒグマを引き寄せる生ごみなどを屋外に置かないようにしましょう。出没情報がある時には、夜間や薄暗い時間帯の外出を避けましょう。イヌの散歩は、吠え声でヒグマを興奮させる恐れがあり危険です。

●山菜採り

山菜はヒグマの生息地に生えていることが多いため、単独行動を避け、音を出しながら行動しましょう。

●キャンプ

ヒグマの痕跡のあるところでは、キャンプをしないようにしましょう。

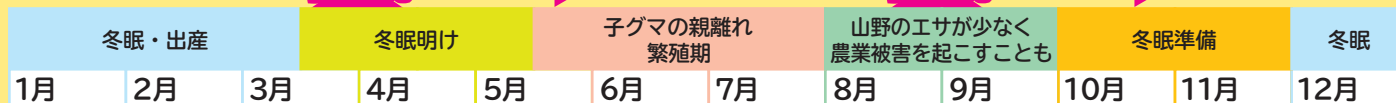
●渓流釣り

水流の音でヒグマも人もお互いに気づきにくくなっていますので、より注意を払います。

●登山

山はヒグマの生息地です。どこでも遭遇すると考えましょう。特に、早朝や日没頃の行動はヒグマと出遭う確率が高くなります。

ヒグマの1年



ヒグマとの事故をなくすために

登山・ハイキング・山菜採りなどでヒグマに出遭わないための行動

ヒグマの出没情報を事前に調べましょう！

市町村のホームページ、SNS、新聞、テレビ、ビジターセンターなどでヒグマの出没情報を確認しましょう。

音を出しながら歩きましょう！

単独で行動せず、複数人で会話しながら歩くと、ヒグマも人の存在に気がつきやすくなります。また、鈴を付けたり、見通しの悪い場所では、手を叩いたり、笛を吹くのもポイントです。

ヒグマの痕跡を見つけたら

ヒグマの足跡、フンや食痕に注意し、見つけたら、安全のために引き返しましょう。



足跡



フン(草本)



食痕(フキ)

ヒグマに出遭ってしまった場合

遠くにヒグマを見つけたら

落ちついて状況を判断してください。ヒグマがこちらに気づいていないなら、その場から静かに立ち去りましょう。

ヒグマがこちらに気づいたら

ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。あわてることは事故につながります。まず落ちつくことです。普通にしていれば、ほとんどのヒグマは立ち去るはずで。

走って逃げるのは自殺行為

ヒグマを刺激しないことです。まず落ちついてゆっくりと後ずさりしてヒグマから目を離さず、その場から離れましょう。

子グマの後ろに必ず母グマあり

可愛いからと近づかないで！

子グマを見つけたら絶対に近づかず、すみやかに立ち去ってください。母グマは子グマを守ろうと攻撃してきます。

それでも近づいてきたら

ヒグマから視線をはなさないでください。そしてヒグマの動きを見ながらゆっくりと後退してください。

襲い掛かってきたら

100%完全な対応ではないですが

北米では、首の後ろを手で覆い、地面に伏して、頸部、後頭部への致命傷を防ぐ方法を勧めています。道内の死亡事故でもこの部分が致命傷となっている事例がみられます。攻撃を止めるためには、クマ撃退スプレーが有効です。

ほんとうの話



人がヒグマを引きつける？

ヒグマは食べ物への執着が非常に強い動物です。生ゴミ(コンポスト含む)や果物、干し魚などの人の食べ物の味を覚えてしまうと、それを目当てに家の近くに繰り返し接近し、人を恐れずに行動するようになります。ヒグマの出没地域に住む人や野山に出かける人は、十分に注意し、危険を避けましょう。



コンポスト



さくらんぼ